

【公表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームたちキッズ大宰府			
保護者評価実施期間	令和6年9月2日～令和6年9月21日			
保護者評価有効回答数	対象者数	38名	回答者数	32名
従業者評価実施期間	令和6年9月2日～令和6年9月21日			
従業者評価有効回答数	対象者数	7名	回答者数	7名
総括表作成日	令和6年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いスタッフが在籍している。	STや、OTを中心として個別訓練や、運動療育を利用者に提供できている。	事業所内の勉強会や、日ごろからの話し合いの場を積極的に取り組んでいく。
2	児発からそのまま入所する子も多くいるので児発からの継続した支援を提供できる。	児発からの引継ぎをしっかりと行い、事業所内でもミーティングを行って、入所前の段階で情報を全スタッフ把握している。	就学後も児発に情報提供し、連携をとっていくことでより手厚い支援を提供できる。
3	聴覚的トレーニング等の安定した療育の提供。	WAVESの検査を行い、本人の力を分析して、よりその子にあった支援につなげている。	CARDの検査の取り組み。 飽きの来ないような固定化しないトレーニング内容の検討。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や、家族等も参加できる研修会の機会が少ない。	交流会は行っているが、年一回なので保護者の認知度も低い。	保護者会を増やしたり、研修の機会を増やすことを検討したい。
2	地域との交流がほとんどない。	初めての場(人)への不安が強い子も多いため配慮している部分もあった。	まずは同じ系列の事業所との関りを増やしていき、そこから地域との交流につなげる。
3	活動等のスペースに狭さを感じる。	2階もあるがスタッフの配置等を考えると1階と2階に分かれての療育は難しい。	利用人数によっては狭く感じるので外や、体育館等を借りるなどして、うまく場所を使い分けてケガ等につながらないようにする。